

グリーフケア

～残された家族を支えるために～

日 程	令和3年12月22日(水) (14:00~17:00)
対象者	介護福祉関係者 及び興味のある方 推奨職員:(中級~上級・全般)
料 金	会員(法人・個人)5,000円 ・ 一般 6,000円
会 場	振興会セミナールーム(横浜市中区山下町23番地 日土地山下町ビル9階) みなとみらい線「日本大通り」駅 3番出口 徒歩5分

グリーフケアとは、グリーフ(悲嘆)を癒し、様々な症状を軽くしたり、抜け出すためには、十分に悲しみ、何らかの方法で悲しみを表出し、受け止める作業、心の整理を行うことによって、悲しみを軽減させることをいいます。介護や医療の現場においてもそのグリーフケアが実際に活かされています。

本研修では、高齢者介護における、切り離せない高齢者様との別れによって起こる特有な反応についての知識とその対処法を学び、専門職としてのグリーフケアの実践を目指します。

【 講 師 】

一般社団法人 日本グリーフケア協会

久保 由佳 社会福祉士、精神保健福祉士、産業シニアカウンセラー
キャリア・コンサルタント技能士



グリーフケア・アドバイザー(一般社団法人 日本グリーフケア協会認定)。
母(当時60歳)が、がん宣告(ステージⅣ)を受ける。2年7か月間の闘病、入院、ターミナル期を在宅で看取った経験をきっかけにグリーフケアを学ぶ。現在は当協会のほか、一般社団法人日本産業カウンセラー協会本部認定実技指導者(東関東支部所属)として産業カウンセラー育成に携わるほか、滋慶学園東京福祉専門学校にて、介護福祉士をはじめ専門職の育成と心のケア、グリーフケアの普及に関わっている。

《カリキュラム》

- ※グリーフケアとは
- ※悲嘆のプロセス
- ※遺族の心情
- ※死別悲嘆の援助

「施設」や「在宅」でのグリーフの相違点や
支えどころの共通点を確認しながら
具体的な事例をもとに、専門職としての
ケアの実践法を学びます

ご家族や大事な人が亡くなった時、あなたは、どうしますか？どうしてほしいですか？

法人名	※会員の方は必ず法人名をご記入下さい。
事業所名	
会員種別	() 会員 () 個人会員 () 一般
個人会員番号	

(公社)かながわ福祉サービス振興会(教育事業課) 行

FAX: 045-671-0295

TEL: 045-210-0788

〒231-0023 横浜市中区山下町23 日土地山下町ビル9階

連絡先	〈住所〉 〒 _____ (自 宅 ・ 法 人 ・ 事 業 所)	
	〈mail〉 _____ @ _____	
	〈電 話〉 _____ - _____	〈ファックス〉 _____ - _____
法人サービス詳細	① 特別養護老人ホーム ② 介護老人保健施設 ③ 介護付有料老人ホーム ④ グループホーム ⑤ 病院 ⑥ 訪問介護 ⑦ 通所介護 ⑧ 居宅介護支援 ⑨ 障害関係() ⑩ その他のサービス()	

＜参加者名簿＞ お申込合計人数 (名)

No.	フリガナ 氏 名	性別	ご職業	経験年数	①参加費
1		男・女	①経営者 ②管理者 ③介護職員 ④ケアマネジャー ⑤看護職員 ⑥生活相談員 ⑦サービス提供責任者 ⑧その他()	年	1. 会員(¥ 5,000) 2. 個人会員(¥ 5,000) 3. 一般(¥ 6,000)
2		男・女	①経営者 ②管理者 ③介護職員 ④ケアマネジャー ⑤看護職員 ⑥生活相談員 ⑦サービス提供責任者 ⑧その他()	年	1. 会員(¥ 5,000) 2. 個人会員(¥ 5,000) 3. 一般(¥ 6,000)
3		男・女	①経営者 ②管理者 ③介護職員 ④ケアマネジャー ⑤看護職員 ⑥生活相談員 ⑦サービス提供責任者 ⑧その他()	年	1. 会員(¥ 5,000) 2. 個人会員(¥ 5,000) 3. 一般(¥ 6,000)

連絡事項	
------	--